

校則の見直しについて

1 目的

生徒一人一人が、社会環境の変化に適切に対応し、自ら判断し行動できる力を付けるため。

2 観点

- ・規定目的と規定手段との間に合理的関連性があるか。
- ・文部科学省の生徒指導の3機能「児童生徒に自己存在感を与えること」「共感的な人間関係を育成すること」「自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助すること」に沿っているか。

※見直しが必要と思われる規定

- ①生まれ持った性質に対して許可が必要な規定
(例) 地毛の色について、学校の承認を求めるもの 他
- ②男女の区別により、性の多様性を尊重できていない規定
(例) 制服に男女の区別を設け、選択の余地がないもの 他
- ③合理的な理由を説明できない規定 など

3 方法

- ・教職員や生徒、保護者とともに考える。
- ・学校外の意見を聴くため、学校運営協議会等の意見を聴く。

4 手続き

